

国際化学肥料ニュース (2017年9月)

肥料業界の2017年9月動態

- * インド IPL 社は9月1日入札、9月8日開札した尿素入札の結果、最低応札価格は Amber 社の CFR 東海岸 251 ドル/トンと Comzest 社の CFR 西海岸 241.22 ドル/トンである。交渉の結果、CFR 西海岸の価格が 246.91 ドル/トンに下がった。内定購買数量 32.5 万トン、その内 26.54 万トンがイラン産、残りの 6 万トンはオマーン産である。今回の尿素入札はインド側の今年第 5 回目で、7 月 20 日開札された前回の尿素入札に比べ、37.62~42.25 ドル/トンの値上げである。

- * 中国政府統計局の最新統計データによれば、7月の化学肥料輸出量が 5.4%増の 254 万トン、輸入量が 36.6%増の 56 万トン。1~7月の化学肥料輸出量が 3%減の 1453 万トン、そのうち尿素が 45.6%減の 308 万トンと大きく落ち込んだが、代わりに DAP が 15%増の 309.1 万トン、硫酸が 50%増の 318.5 万トン、塩安が 47.4%増の 84.4 万トン。一方、1~7月の化学肥料輸入量が 14.4%増の 534 万トン、そのうち塩化加里が 20%増の 434 万トンである。

- * 9月上旬、サウジアラビアの Waad Al Shamal 社の新しいりん酸肥料プラントから生産された DAP2.6 万トンを初めてバングラデシュに輸出した。Waad Al Shamal 社はサウジアラビアの Ma'aden Saudi 社、アメリカの Mosaic 社とサウジアラビアの SABIC 社の 3 社合弁企業で、Ras Al Khair にアンモニア工場とりん安/化成肥料工場を建設し、その最初の生産ラインが 7 月 8 日から稼働し始めた。今年末に年間 300 万トンりん安と化成肥料の設計能力に達する見込みである。

- * 9月に入ってからエジプトと中東の尿素価格が急騰した。この 2 週間でサウジアラビアとエジプト尿素が 30 ドル/トン値上げられた。その理由はインド IPL 社の尿素入札に加え、ヨーロッパの秋季肥料需要が旺盛で、国際市場に尿素不足と見ている。西ヨーロッパでは貿易商がエジプトから 8 万トン大粒尿素、中東から 3 船 10 万トン普通尿素を契約した。インドの入札に加え、10 月末まで中東諸国、イランとエジプトの廉価尿素が一掃された。9 月 20 日現在、国際尿素価格は 2015 年以降の最高値を記録し、さらに上がる可能性がある。

- * ベラルーシの BPC 社は今年年末まで生産される予定の塩化加里がすべて予約販売したと発表した。また、ヨルダンの APC 社も来年 1 月までの塩化加里も全部予約されたと発表した。7 月中国とインドがそれぞれ大手加里メーカーと塩化加里年度輸入基本契約

を締結してから、塩化加里の国際市場価格が透明になり、各国の貿易商社から一斉に塩化加里を購入することになった。

- * インド IPL 社が 9 月 16 日発表、25 日開札した尿素入札は、16 社が入札し、応札総量 106.9 万トンプラス 15 万トンの追加可能量である。CFR 西海岸の最低応札価格は Koch 社の 286 ドル/トン、CFR 東海岸の最低応札価格は Aries 社の 284.61 ドル/トンである。9 月 8 日開札した前回の尿素入札に比べ、約 40 ドル/トンの値上げとなる。

今回尿素入札は予定購入数量 50 万トンであるが、応札価格が急騰するため、インド側は応札者と値下げ交渉の結果を見てキャンセルの可能性もあると言われる。

- * カナダの Conpotex 社は年内生産予定の塩化加里がすべて予約されたため、サスカチュワン州にある Lanigan 加里鉱山と Allan 加里鉱山が第 4 四半期に点検のため生産を止めると発表した。

また、チリの SQM 社も年内在庫している塩化加里がすべて販売されたと発表した。SQM 社は今後の重点は加里ではなく、リチウムに移し、これからの加里生産量を徐々に減らしていくとも言明した。

大手加里メーカーの減産動きに伴い、9 月から塩化加里の市況がゆっくり上昇する傾向である。

- * 9 月アメリカフロリダ州に上陸したハリケーン・イルマは Mosaic 社のりん安生産に大打撃を与えた影響で、りん安の国際価格が大幅上昇した。特に南米のブラジルとアルゼンチンはこの 2 週間だけで MAP の CFR 価格が 15 ドル/トン以上上がった。DAP についても中国の減産姿勢もあり、アジア地域では約 10~15 ドル/トンの値上げとなった。

但し、世界のりん安生産能力が需要を大きく上回り、来年に再び安くなると推測され、インドとパキスタンは DAP の CFR 価格が 370 ドル/トンを超える場合は輸入しないと決めたようである。MAP についてもブラジルが CFR 価格 365 ドル/トン、アルゼンチンが 375 ドル/トンを超えた場合は、輸入量を抑えるといわれる。

大手各社の営業業績

- * サウジアラビアの Ma'aden Saudi 社は上半期の業績を発表した。売上高が 18%増の 57.1 億リヤル (約 15.2 億ドル)、純利益が 73%増の 6.32 億リヤル (約 1.7 億ドル)。増収増益の最大要因はりん安とアンモニア生産量の増加と販売価格の上昇である。4~6 月だけでりん安生産量 66.8 万トン、アンモニア生産量 55.5 万トンであった。

- * ロシアの PhosAgro 社は上半期の業績を発表した。売上高が 13%減の 891.2 億ルーブル、純利益が 62%減の 137.3 億ルーブル（約 2.32 億ドル）。1～6 月、りん鉱石販売量が 10%増の 130 万トン、りん酸肥料販売量が 11%増の 320 万トン、窒素肥料販売量が 14%増の 89.6 万トンであった。販売量の増加に関わらず、販売価格の低下で、売上高と純利益が減少した。

- * モロッコの OCP 社は今年上半期の業績を発表した。売上高が 7%増の 231.5 億ディルハム（約 23.2 億ドル）、粗利が 4.7%増の 151.2 億ディルハム（約 15.2 億ドル）。増収増益の原因はりん鉱石とりん安の輸出増及びりん鉱石を乾粉輸送からスラリーのパイプ輸送に切り替えることで、生産コストの削減によるものである。
1～7 月 OCP のりん鉱石輸出量が 39%増の 610 万トン、りん安輸出量も 27%増の 470 万トンに達した。輸出の数量増が輸出価格の下落を補った形となる。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

その他

- * 9 月 10 日アメリカフロリダ州に上陸したハリケーン・イルマは Mosaic 社のりん安生産に大きな影響を与えた。ハリケーンの上陸を受け、りん安工場の稼働が全面停止して、一部の生産設備にも被害を受けた。9 月末に生産再開の予定。生産停止の影響を受け、DAP 約 40 万トンの減産と推定される。9 月 15 日現在、アメリカの DAP 出荷価格が約 7 ドル／トン値上げされた。